

いつか・・・ではなく

いま受けよう！がん検診



日本人の2人に1人がなると言われる、がん（悪性新生物）。誰もがなる可能性がある「がん」ですが、検診によって早期発見し治療をすることで、完治する可能性が高くなります。健康な生活を送るために大切ながん検診を受けましょう。

詳細

健康支援課

☎(32)6407・6410

検診はがんの特効薬

がんの早期発見のため、市では、各種がん検診を毎月行なっています。

●肺がん検診

もっとも死者が多いがんで、大きな原因はたばこと言われています。胸部エックス線検査を行います。

●胃がん検診

肺がんに次いで死者が多く、日本人に多いがんです。バリウムによる胃部エックス線検査を行います。

●大腸がん検診

急速に増えてきているがんです。便の中の微量な血液の有無を調べる検査を行うため、食事制限もなく簡単に受けられます。

●乳がん検診

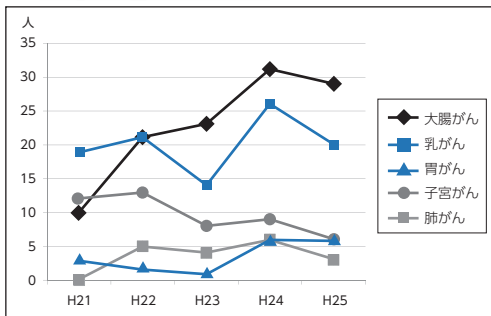
女性が一番かかりやすいがんです。検査は視触診と、マンモグラフィというエックス線撮影装置で行います。

●子宮頸がん検診

若い世代にも増え始めているがんです。細胞を採取して、異常細胞の有無を調べます。

増えているがんに気をつけよう！

検診によるがん発見者数は、5年前より45%増えています。特に、乳がんになる女性は15人に1人と言われるまで増えてきていて、早期発見の大切さを呼びかける、「世界規模の啓発キャンペーン」『ピンクリボン運動』が行われるなど、検診の重要性が注目されています。乳がん、大腸がん、子宮頸がんの各検診については無料検診も行っており、対象の方にはクーポンをお届けしていますので、ぜひ利用して、検診を受けましょう。



図：苫小牧市がん検診のがん発見者数推移



苫小牧保健センター

おた なおみ
太田 奈穂美 技師

早期発見のために がん検診を受けましょう

インタビュー

近年は食の欧米化の影響などにより、がん発症数が増えています。ですが、早期に発見して適切な治療を受ければ、より高い確率で治すことができます。早期のがんは自覚症状がないため、がんを発見するためには検診を受ける必要があります。

その中で、女性に急増している乳がんの検診について、保健センターでは基本的に女性技師によるマンモグラフィ検査を行っています。皆さんがイメージされているよりも体の負担が少なく検査できます。また、来年4月にオープンする新しい保健センターでは、女性専用フロアや託児室などを設置し、女性の方が受診しやすい環境づくりを進めていますので、安心して受診していただけたらと思います。不安がらずに一度検診を受けていただき、症状がないうちから定期的に検査することが大切です。

受診の詳しい日時や内容、料金、医療機関については、4月に発行の「わが家の健康カレンダー」、または毎月の広報とまこまい「健康ガイド」をご覧ください。

